



中小企業景況レポート

No.4 中栄信用金庫 経営相談室

平成24年7月～9月実績と平成24年10月～12月見込み

◆調査概要

調査時期 平成24年9月上旬
調査地域 秦野市、伊勢原市、平塚市、厚木市
調査企業数 254社
回答企業数 251社

【調査先及び回答状況】

	調査先	回答数	回答率
製造業	70	70	100.0
卸売業	21	20	95.2
小売・飲食業	50	49	98.0
サービス業	36	36	100.0
建設業	42	42	100.0
不動産業	35	34	97.1
合 計	254	251	98.8

◆7月～9月期の概況

～景況感は▲26.6と3期連続の悪化となる～

当金庫主要営業地区内における中小企業を対象に景気動向調査を実施した結果、全業種総合の業況判断D.I.は▲26.6を示し前回調査（平成24年4月～6月期）に比べ5.8ポイントの悪化となりました。これは、電気料金の値上げによるコスト増、海外経済の減速に伴う受注低迷、取引先の海外シフト等の景気後退要因がマインドの低下を招いており、景況感は一段と厳しさを増していることが窺える結果となっております。

項目別にみると、売上実績D.I.は前回調査比2.3ポイント悪化の▲19.5、収益実績D.I.は前回調査比7.4ポイント悪化の▲27.0となっております。資金繰りについては前回調査比7.9ポイント悪化の▲25.5、残業時間D.I.は▲12.0と5.5ポイントの低下となりました。

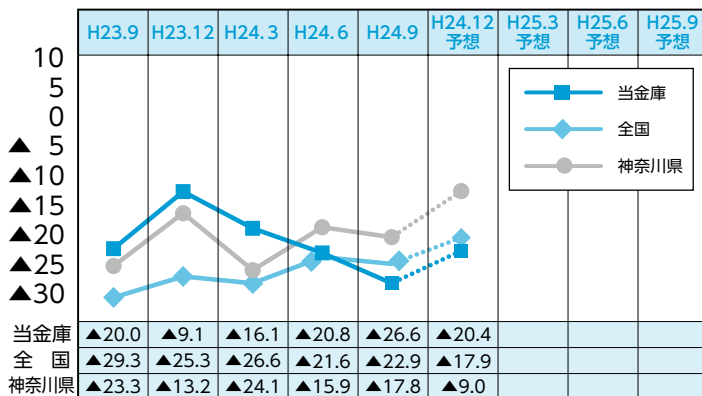
また、業種別の景況感は、卸売業が4.2ポイント改善し▲10.0、小売・飲食業が3.1ポイント改善し▲48.9、建設業が2.4ポイント改善し4.7となるものの、製造業が13.1ポイント悪化の▲41.4、サービス業が16.3ポイント悪化の▲27.7、不動産業が8.8ポイント悪化の▲11.7と、業種間でばらつきが見られ、建設業以外はすべての業種で業況判断はマイナス域が続いております。（業種別の詳細については、次頁以降をご参照ください。）

なお、全国の中小企業の業況判断D.I.は、1.3ポイント悪化の▲22.9と建設業以外の5業種で悪化し、神奈川県内は、1.9ポイント悪化の▲17.8となっております。（全国と神奈川県のD.I.値については、信金中央金庫による調査に基づいております。以下同様。）

◆10月～12月期の見通し

来期の業況判断予想は6.2ポイント改善の▲20.4、売上額D.I.の予想は20.7ポイント改善の1.2、収益D.I.の予想は22.2ポイント改善の▲4.8と予想されております。業種別では、小売・飲食業、サービス業、不動産業は改善見込み、建設業は横這い、製造業、卸売業は悪化の見込みとなっております。一部の業種においては、消費税増税前の駆け込み需要や年末需要における消費拡大への期待があるものの、長引く景気低迷による先行き不透明感から慎重な見方となっております。

業況判断D.I.値（全業種）



業種別景気天気図

	前 期	今 期	予 想
総 合			
製 造 業			
卸 売 業			
小売・飲食業			
サービス業			
建 設 業			
不 動 産 業			

※この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。

好調 ← → 低調
良い 悪い

全国、神奈川県の業況判断D.I.値は、信金中央金庫 地域・中小企業研究所が全国約16,000（うち神奈川県約480）の中小企業を対象に実施している「全国中小企業景気動向調査」の調査データに基づいております。

D.I.値とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「良い」「やや良い」と回答した企業の割合から、「悪い」「やや悪い」と回答した企業の割合を引いた値です。値が小さいほど業況判断は悪いということになります。

製造業

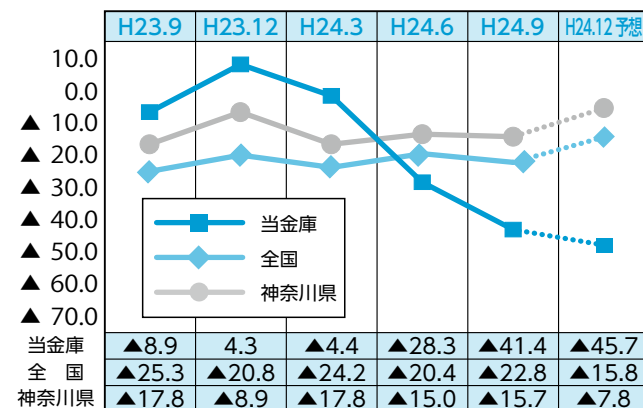
概況

製造業の業況判断 D.I. は前回調査比 13.1 ポイント悪化の▲41.4 とマイナス域が続いております。項目別では、売上額 D.I. は 11.5 ポイント悪化の▲42.8、収益 D.I. は 11.3 ポイント悪化の▲47.1、資金繰りは 9.1 ポイント悪化の▲30.0 となり、円高、電気料金の値上げ、販売先からの値下げ要請等、中小企業を取り巻く環境は依然として厳しい状況となっております。また、自動車部品関連企業においては、取引先の海外移転・調達の加速、エコカー補助金終了に伴う大手企業の減産による受注減少などが業況判断の悪化に影響しているものと思われます。

なお、全国は 2.4 ポイント悪化の▲22.8 となっており、神奈川県は 0.7 ポイント悪化の▲15.7 となっております。

来期の予想業況判断は 4.3 ポイント悪化の▲45.7 と 4 期連続の悪化が予想されております。

業況判断D.I.値



売上額

前期実績	16.4	35.9	47.7	D.I. ▲31.3
当期実績	14.3	28.6	57.1	▲42.8
来期予想	20.0	44.3	35.7	▲15.7
前年同期比	27.1	24.4	48.5	▲21.4

販売価格

前期実績	1.5	70.2	28.3	D.I. ▲26.8
当期実績		75.8	24.2	▲24.2
来期予想	5.7	75.8	18.5	▲12.8

在庫

前期実績	9.0	88.0	3.0	D.I. 6.0
当期実績	11.5	84.2	4.3	7.2
来期予想	10.1	87.0	2.9	7.2

人手

前期実績	20.9	65.6	13.5	D.I. 7.4
当期実績	18.5	70.1	11.4	7.1
来期予想	18.5	70.1	11.4	7.1

収益

前期実績	13.4	37.4	49.2	D.I. ▲35.8
当期実績	8.6	35.7	55.7	▲47.1
来期予想	14.3	45.7	40.0	▲25.7
前年同期比	18.6	31.4	50.0	▲31.4

原材料価格

前期実績	21.5	70.8	7.7	D.I. 13.8
当期実績	10.1	84.1	5.8	4.3
来期予想	14.4	81.3	4.3	10.1

資金繰り

前期実績	7.4	64.3	28.3	D.I. ▲20.9
当期実績	7.1	55.8	37.1	▲30.0
来期予想	4.2	61.6	34.2	▲30.0

設備状況

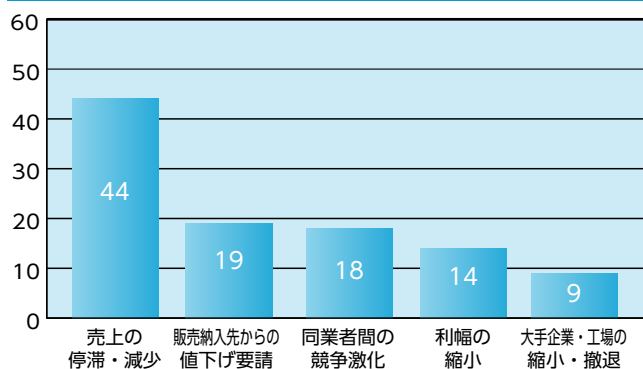
前期実績	10.8	75.4	13.8	D.I. ▲3.0
当期実績	11.4	75.8	12.8	▲1.4
来期予想	11.6	75.4	13.0	▲1.4

当期実績…24年 7～9月期
来期予想…24年10～12月期

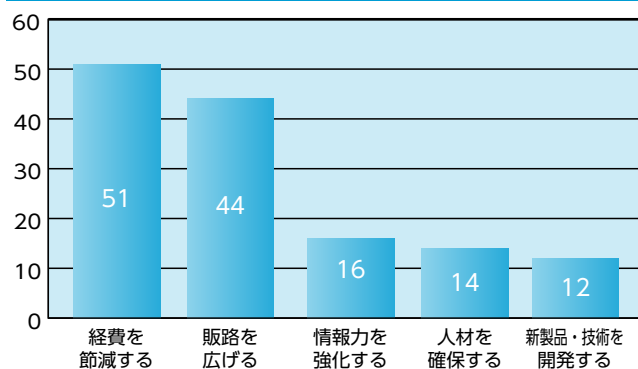
□ 良い、増加、上昇
□ 普通、変わらず
□ 悪い、減少、下落

□ 適正
□ 過剰、楽
□ 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



卸売業

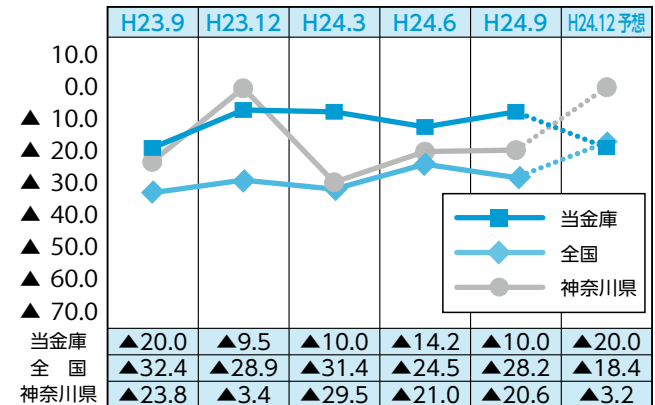
概況

卸売業の業況判断 D.I. は前回調査比 4.2 ポイント改善の▲10.0 となりました。業況判断については改善となっているものの、項目別では、売上額 D.I. は前期に比べ 35.0 ポイント大幅悪化の▲35.0、収益 D.I. は 11.0 ポイント悪化の▲30.0 となっております。仕入価格は▲5.0 とマイナス域に転じ、仕入価格の上昇感は弱まったものの、同業者間の価格競争が激しいことから、販売価格 D.I. は、20.0 ポイント悪化の▲20.0 と下落感が強まり、売上の停滞、減少を懸念する声が多く見受けられます。

なお、全国は 3.7 ポイント悪化の▲28.2 となっており、神奈川県は 0.4 ポイント改善の▲20.6 となっております。

来期の予想業況判断は 10.0 ポイント悪化の▲20.0 と予想されております。

業況判断D.I.値



売上額

前期実績	23.8	52.4	23.8	D.I. 0.0
当期実績	-10.0	45.0	45.0	▲35.0
来期予想	15.0	60.0	25.0	▲10.0
前年同期比	30.0	35.0	35.0	▲5.0

販売価格

前期実績	19.0	62.0	19.0	D.I. 0.0
当期実績	-5.0	70.0	25.0	▲20.0
来期予想	-10.0	75.0	15.0	▲5.0

在庫

前期実績	19.0	71.5	9.5	D.I. 9.5
当期実績	-10.0	85.0	5.0	5.0
来期予想	-10.0	85.0	5.0	5.0

人手

前期実績	-10.0	80.0	10.0	D.I. 0.0
当期実績	80.0	20.0		▲20.0
来期予想	75.0	25.0		▲25.0

収益

前期実績	14.3	52.4	33.3	D.I. ▲19.0
当期実績	-10.0	50.0	40.0	▲30.0
来期予想	-10.0	55.0	35.0	▲25.0
前年同期比	15.0	50.0	35.0	▲20.0

仕入価格

前期実績	28.5	62.0	9.5	D.I. 19.0
当期実績	-10.0	75.0	15.0	▲5.0
来期予想	15.0	80.0	5.0	10.0

資金繰り

前期実績	-4.7	66.8	28.5	D.I. ▲23.8
当期実績	80.0	20.0		▲20.0
来期予想	-5.0	80.0	15.0	▲10.0

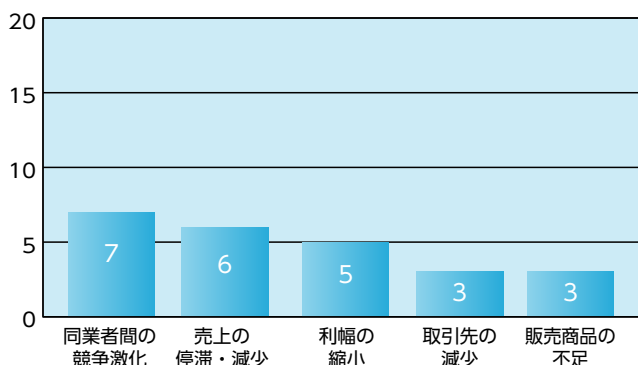
設備状況

前期実績	-5.3	84.2	10.5	D.I. ▲5.2
当期実績	94.2	5.8		▲5.8
来期予想	94.2	5.8		▲5.8

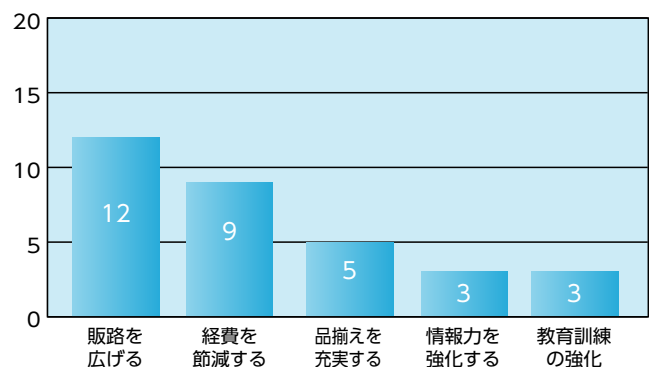
当期実績…24年 7～9月期
来期予想…24年10～12月期

良い、増加、上昇、過剰、楽
 普通、変わらず、適正
 悪い、減少、下落、不足、苦しい

経営上の問題点（複数回答）



当面の重点経営施策（複数回答）



小売・飲食業

概況

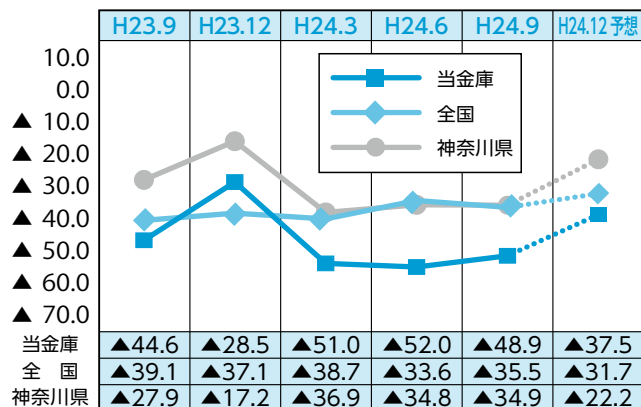
小売・飲食業の業況判断 D.I. は▲48.9 と前回調査比 3.1 ポイント小幅改善となるも、全業種平均を大幅に下回る結果となりました。

項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 2.4 ポイント悪化の▲24.4、収益 D.I. は 6.4 ポイント悪化の▲24.4 となっております。一部の企業においては、新店舗出店により売上増加となるものの、総体的には、客単価の減少、同業者間の価格競争に加え、穀物価格の高騰に伴う原材料価格上昇の影響で、仕入価格も 12.2 と上昇感強く、資金繰りは▲36.7 と依然として厳しい状況であることが窺える結果となっております。

なお、全国は 1.9 ポイント悪化の▲35.5 となっており、神奈川県は 0.1 ポイント悪化の▲34.9 となっております。

来期の予想業況判断は、季節需要が見込まれることから▲37.5 と 11.4 ポイントの改善が予想されております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	26.0	26.0	48.0	D.I. ▲22.0
当期実績	18.4	38.8	42.8	▲24.4
来期予想	37.5	39.5	23.0	14.5
前年同期比	22.5	26.5	51.0	▲28.5

販売価格

前期実績	-6.0	78.0	16.0	D.I. ▲10.0
当期実績	-10.2	77.6	12.2	▲2.0
来期予想	12.5	75.0	12.5	0.0

在庫

前期実績	-8.0	86.0	6.0	D.I. 2.0
当期実績	20.4	63.2	16.4	4.0
来期予想	14.5	77.2	8.3	6.2

人手

前期実績	-4.1	67.4	28.5	D.I. ▲24.4
当期実績	-6.2	63.2	30.6	▲24.4
来期予想	-8.1	67.5	24.4	▲16.3

収益

前期実績	24.0	34.0	42.0	D.I. ▲18.0
当期実績	14.3	47.0	38.7	▲24.4
来期予想	31.2	48.0	20.8	10.4
前年同期比	20.4	26.6	53.0	▲32.6

仕入価格

前期実績	14.0	70.0	16.0	D.I. ▲2.0
当期実績	22.4	67.4	10.2	12.2
来期予想	18.7	75.1	6.2	12.5

資金繰り

前期実績	-6.0	52.0	42.0	D.I. ▲36.0
当期実績	-4.1	55.1	40.8	▲36.7
来期予想	-6.3	56.2	37.5	▲31.2

設備状況

前期実績	75.6	24.4	D.I. ▲24.4
当期実績	2.1	80.6	17.3 ▲15.2
来期予想	84.8	15.2	▲15.2

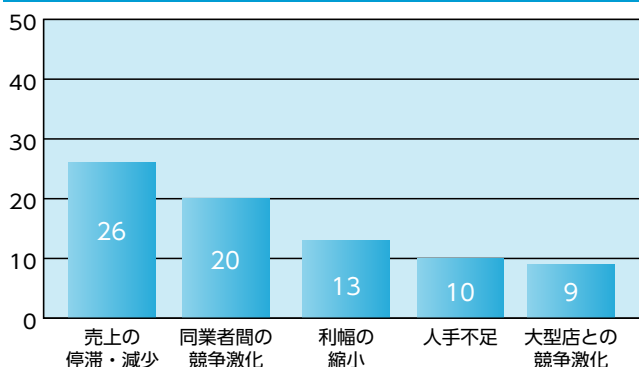
当期実績…24年 7～9 月期
来期予想…24年10～12 月期

良い、増加、上昇
過剰、楽

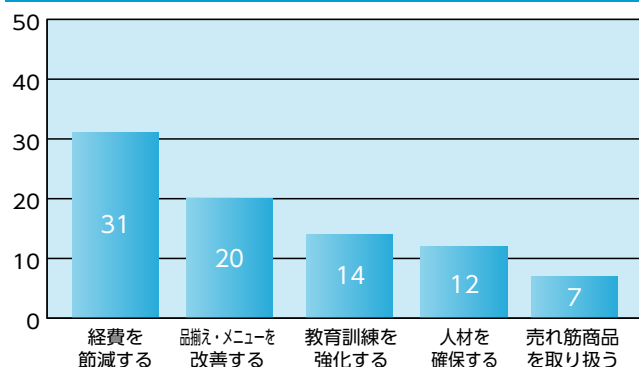
普通、変わらず
適正

悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



サービス業

概況

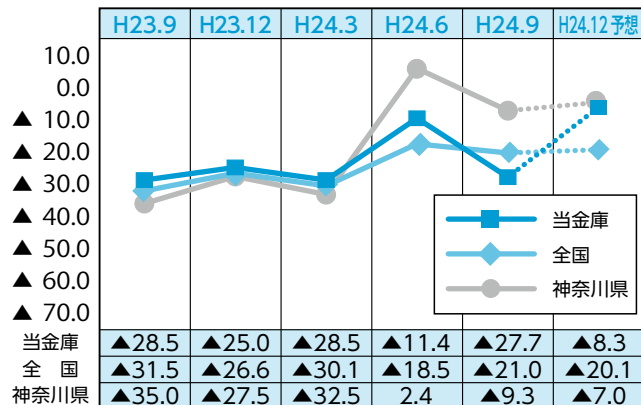
サービス業の業況判断 D.I. は前回調査比 16.3 ポイント悪化の▲27.7 となりました。

項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 36.2 ポイント悪化の▲30.5、収益 D.I. は 27.6 ポイント悪化の▲33.3、資金繰りは 27.6 ポイント悪化の▲33.3 となっております。これは消費低迷による売上減少に加え、原油高、電気料金値上げ等のコスト高を十分価格に転嫁できないことから、収益減少、資金繰りの悪化を招いております。また、一部の企業においては、秋の観光シーズン、年末商戦に向けて宣伝・広告を強化し、顧客増加を図る動きも見受けられます。

なお、全国は 2.5 ポイント悪化の▲21.0 となっており、神奈川県は 11.7 ポイント悪化の▲9.3 となっております。

来期の予想業況判断は、▲8.3 と 19.4 ポイントの改善が予想されております。

業況判断D.I.値



売上額

前期実績	34.2	37.3	28.5	D.I. 5.7
当期実績	13.9	41.7	44.4	▲30.5
来期予想	36.1	38.9	25.0	11.1
前年同期比	33.3	44.5	22.2	11.1

料金価格

前期実績	94.3	5.7	D.I. ▲5.7
当期実績	2.8	88.9	8.3 ▲5.5
来期予想	91.7	8.3	▲8.3

資金繰り

前期実績	17.1	60.1	22.8	D.I. ▲5.7
当期実績	5.5	55.7	38.8	▲33.3
来期予想	5.6	58.3	36.1	▲30.5

設備状況

前期実績	5.7	71.5	22.8	D.I. ▲17.1
当期実績	13.9	69.5	16.6	▲2.7
来期予想	8.6	71.4	20.0	▲11.4

収益

前期実績	28.5	37.3	34.2	D.I. ▲5.7
当期実績	13.9	38.9	47.2	▲33.3
来期予想	33.3	41.7	25.0	8.3
前年同期比	27.8	41.7	30.5	▲2.7

材料価格

前期実績	11.4	88.6	D.I.	11.4
当期実績	16.6	83.4		16.6
来期予想	13.8	83.5	2.7	11.1

人手

前期実績	14.3	68.6	17.1	D.I. ▲2.8
当期実績	13.9	69.5	16.6	▲2.7
来期予想	13.9	69.5	16.6	▲2.7

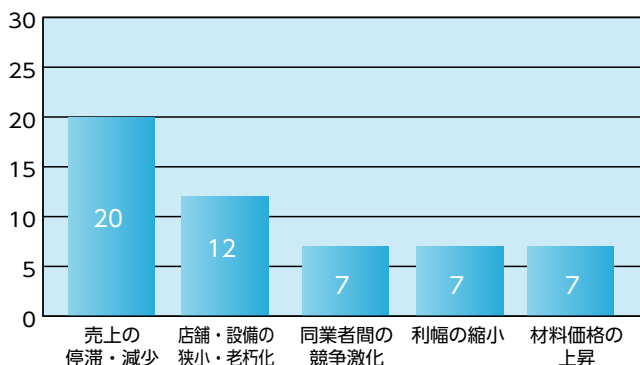
当期実績…24年 7～9月期
来期予想…24年10～12月期

良い、増加、上昇
過剰、楽

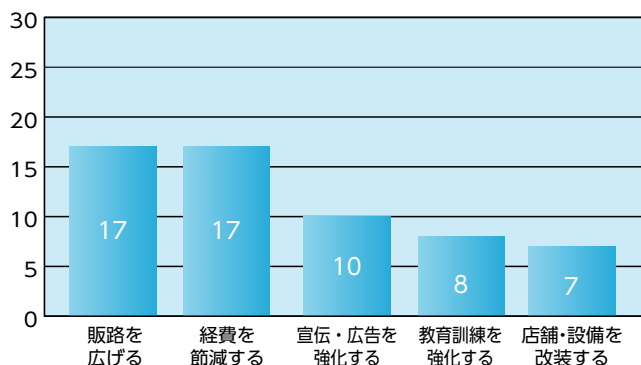
普通、変わらず
適正

悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



建設業

概況

建設業の業況判断 D.I. は前回調査比 2.4 ポイント改善の 4.7 となりました。

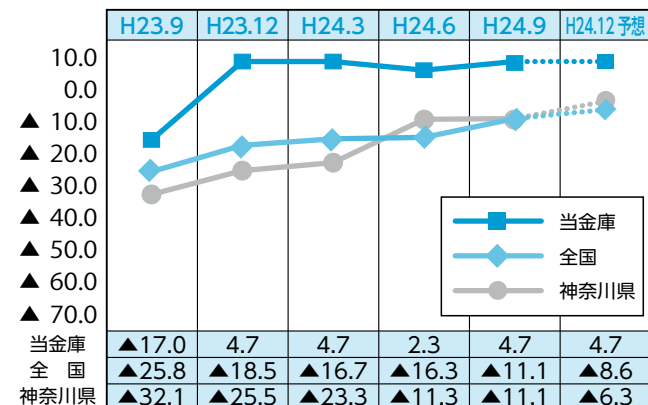
項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 35.6 ポイント改善の 21.4、収益 D.I. は 7.2 ポイント改善の▲2.3、人手過不足については、人手不足感が 16.1 ポイント強まり▲40.4 となっております。

公共工事に比べ、省エネ対策工事や住宅の新築、リフォーム等の民間工事受注が安定し、受注残についても 23.7 ポイント増加の 4.7 と業況改善となるものの、材料価格の上昇、工事受注の重複に伴う人手不足によるコスト増等が課題となっていることを示す結果となっております。

なお、全国は 5.2 ポイント改善の▲11.1 となっており、神奈川県は 0.2 ポイント改善の▲11.1 となっております。

来期の予想業況判断は今期から横ばいの 4.7 と予想されております。

業況判断D.I.値



売上額

前期実績	21.5	42.8	35.7	D.I. ▲14.2
当期実績	33.3	54.8	11.9	21.4
来期予想	24.3	61.1	14.6	9.7
前年同期比	23.8	52.4	23.8	0.0

請負価格

前期実績	2.4	81.0	16.6	D.I. ▲14.2
当期実績	7.1	76.3	16.6	▲9.5
来期予想	4.9	82.9	12.2	▲7.3

在庫

前期実績	4.7	90.6	4.7	D.I. 0.0
当期実績	4.8	88.1	7.1	▲2.3
来期予想	2.5	90.2	7.3	▲4.8

人手

前期実績	4.9	65.9	29.2	D.I. ▲24.3
当期実績	2.4	54.8	42.8	▲40.4
来期予想	58.6	41.4		▲41.4

収益

前期実績	16.6	57.3	26.1	D.I. ▲9.5
当期実績	14.3	69.1	16.6	▲2.3
来期予想	24.3	58.7	17.0	7.3
前年同期比	16.7	64.3	19.0	▲2.3

材料価格

前期実績	21.9	73.2	4.9	D.I. 17.0
当期実績	21.4	78.6		21.4
来期予想	12.2	85.3	2.5	9.7

資金繰り

前期実績	11.9	71.5	16.6	D.I. ▲4.7
当期実績	9.5	62.0	28.5	▲19.0
来期予想	12.2	61.0	26.8	▲14.6

設備状況

前期実績	4.7	90.6	4.7	D.I. 0.0
当期実績		88.1	11.9	▲11.9
来期予想		92.9	7.1	▲7.1

当期実績…24年 7～9月期
来期予想…24年10～12月期

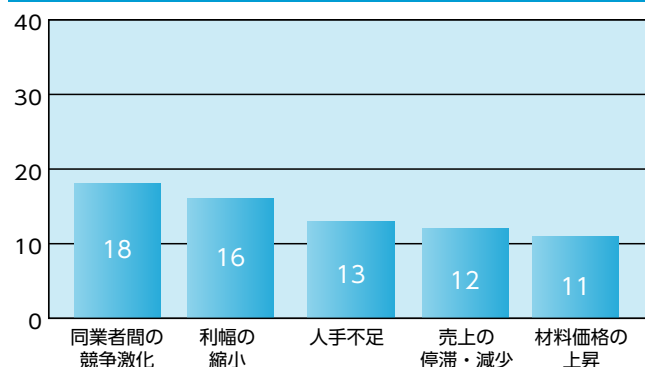
□ 良い、増加、上昇
□ 普通、変わらず
□ 悪い、減少、下落

□ 過剰、楽

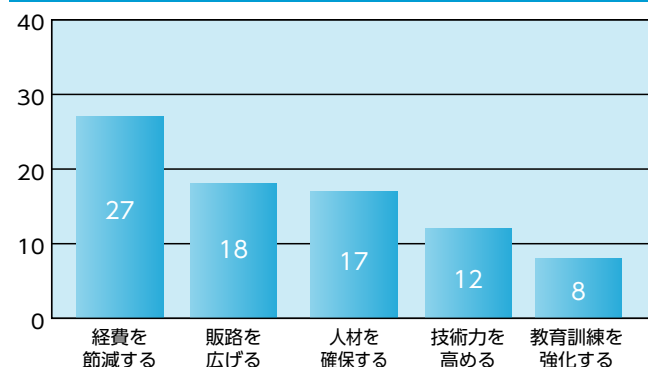
□ 適正

□ 不足、苦しい

経営上の問題点（複数回答）



当面の重点経営施策（複数回答）



不動産業

概況

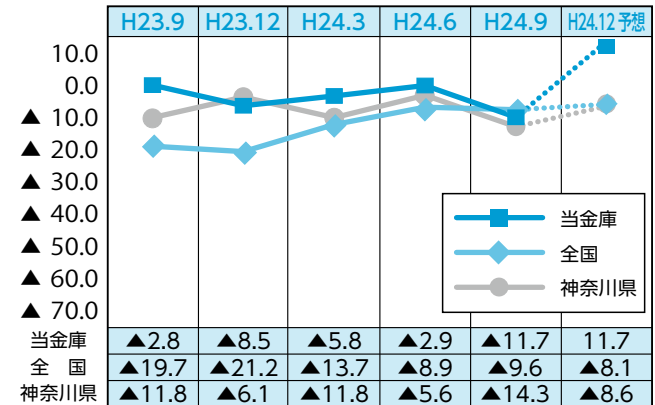
不動産業の業況判断 D.I. は前回調査比 8.8 ポイント悪化の▲11.7 となりました。

項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 26.3 ポイント改善の 5.8、収益 D.I. は 5.9 ポイント改善の▲11.7、資金繰りは 5.9 ポイント改善の▲2.9 となっております。消費税増税前の影響はまだ少ないものの、駆け込み需要を期待する声が多く見受けられることから、情報力を強化するとともに、増税前の駆け込み需要を見越した商品仕入れによる在庫確保が今後の課題となっております。

なお、全国は 0.7 ポイント悪化の▲9.6 となっており、神奈川県は 8.7 ポイント悪化の▲14.3 となっております。

来期の予想業況判断は、23.4 ポイント改善の 11.7 とプラス域に転じる予想となっております。

業況判断D.I.値



売上額

前期実績	20.6	38.3	41.1	D.I. ▲20.5
当期実績	26.4	53.0	20.6	5.8
来期予想	29.4	44.1	26.5	2.9
前年同期比	35.2	47.2	17.6	17.6

販売価格

前期実績	2.9	70.7	26.4	D.I. ▲23.5
当期実績	3.0	67.6	29.4	▲26.4
来期予想	8.8	53.0	38.2	▲29.4

在庫

前期実績	5.9	47.1	47.0	D.I. ▲41.1
当期実績	11.8	38.2	50.0	▲38.2
来期予想	11.8	58.8	29.4	▲17.6

人手

前期実績	81.9	18.1	D.I. ▲18.1
当期実績	94.2	5.8	▲5.8
来期予想	87.9	12.1	▲12.1

収益

前期実績	20.6	41.2	38.2	D.I. ▲17.6
当期実績	14.7	58.9	26.4	▲11.7
来期予想	23.5	53.0	23.5	0.0
前年同期比	32.3	47.1	20.6	11.7

仕入価格

前期実績	8.9	76.4	14.7	D.I. ▲5.8
当期実績	6.1	81.8	12.1	▲6.0
来期予想	18.1	72.8	9.1	9.0

資金繰り

前期実績	8.8	73.6	17.6	D.I. ▲8.8
当期実績	11.8	73.5	14.7	▲2.9
来期予想	8.8	73.6	17.6	▲8.8

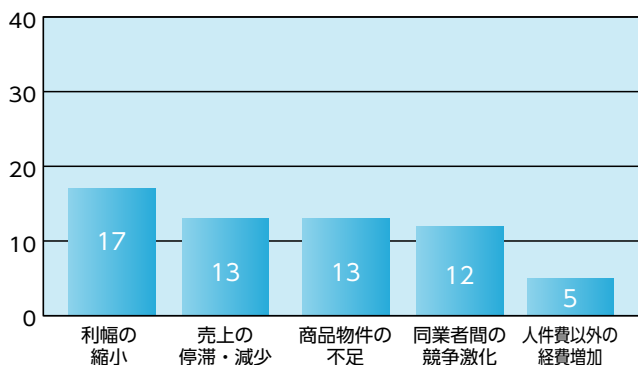
当期実績…24年 7～9月期
来期予想…24年10～12月期

良い、増加、上昇
過剰、楽

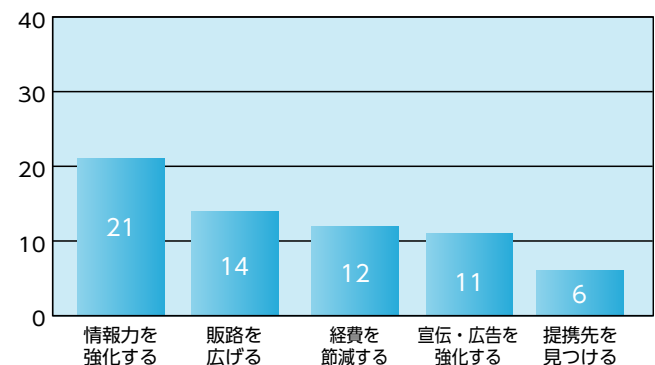
普通、変わらず
適正

悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点（複数回答）



当面の重点経営施策（複数回答）



当金庫のお客様 254 社にお願いして特別調査を実施しました。

問 1. 貴社では、主に事業展開上（市場動向把握、各種経営情報の取得など）の情報収集にあたって、どのような媒体や機関を活用していますか。活用度合いの大きいものを以下の 1～9 より最大 3 つまでお答えください。なお、特にないという方は、0 を選択してください。

1 位 販売・仕入先 …………… 152 社	6 位 専門家（税理士、技術士等）…………… 40 社
2 位 インターネット …………… 107 社	7 位 国や自治体などの行政機関 …………… 24 社
3 位 新聞・雑誌 …………… 99 社	8 位 特にない …………… 22 社
4 位 テレビ・ラジオ …………… 50 社	9 位 金融機関 …………… 12 社
5 位 組合や商議所等のコミュニティ …………… 46 社	10 位 その他 …………… 7 社

問 2. 貴社では、取引推進上（広告・宣伝、販売チャネルなど）、どのような情報発信媒体を活用していますか。活用度合いの大きいものを以下の 1～9 より最大 3 つまでお答えください。なお、特にないという方は、0 を選択してください。

1 位 特にない …………… 81 社	6 位 ダイレクトメール …………… 18 社
2 位 自社ホームページ（ブログ含む）…………… 74 社	6 位 電話・ファクシミリ …………… 18 社
3 位 新聞（折込み広告含む）・雑誌 …………… 33 社	8 位 地域特有の発行物（コミュニティ誌等）… 17 社
4 位 看板・ポスター …………… 32 社	9 位 テレビ・ラジオ（コミュニティ放送含む）… 11 社
5 位 インターネット（自社ホームページを除く）… 24 社	10 位 その他 …………… 7 社

問 3. 貴社が、取引推進上活用している情報発信媒体には、主にどのような効果を期待していますか。以下の 1～5 より 1 つお答えください。また、期待する効果の実現状況について 6～0 より 1 つお答えください。なお、「期待する効果」について、選択肢 5「取引推進上の情報発信を行っていない」と回答された方は、「効果の実現状況」をお答えいただく必要はありません。

（期待する効果）		（効果の実現状況）	
1 位 新規顧客の獲得 …………… 112 社		1 位 どちらともいえない …………… 79 社	
2 位 取引推進上の情報発信を行っていない … 53 社		2 位 おおむね実現している …………… 47 社	
3 位 既存取引先との取引拡大・深耕 …………… 30 社		3 位 あまり実現していない …………… 28 社	
4 位 知名度・信用力の向上 …………… 22 社		4 位 実現していない …………… 25 社	
5 位 その他 …………… 1 社		5 位 期待以上に実現している …………… 3 社	

問 4. 近年、ソーシャルメディアの利用が広がっていますが、貴社では、ソーシャルメディアを事業上の情報収集・発信に利用していますか。利用している場合は、最も利用している媒体を 1～5 より 1 つお答えください。また、利用していない場合は、今後の方針について、6～0 より 1 つお答えください。

利用している（媒体）		利用していない（今後の方針）	
1 位 SNS（フェイスブックなど）…………… 11 社		1 位 どちらともいえない …………… 59 社	
2 位 ミニブログ（ツイッターなど）…………… 5 社		2 位 今後も利用しない …………… 35 社	
3 位 ブログ（アメーバブログなど）…………… 4 社		3 位 利用を検討したい …………… 23 社	
3 位 その他 …………… 4 社		4 位 あまり利用したくない …………… 15 社	
5 位 動画・情報共有サイト（ユーチューブなど）… 2 社		5 位 利用を開始する予定 …………… 7 社	

問 5. 貴社では、事業上の情報収集・発信においてインターネット（ソーシャルメディアを含む）を利用する際にどのような課題を感じていますか。あてはまるものを以下の 1～9 より最大 3 つまでお答えください。なお、特にないという方は、0 を選択してください。

1 位 特にない …………… 84 社	6 位 有効に活用するノウハウがない …………… 38 社
2 位 インターネットの利用に長けた人材の不足 … 57 社	7 位 コスト負担が大きい …………… 31 社
3 位 セキュリティ確保への不安 …………… 49 社	8 位 必要性を感じない …………… 22 社
4 位 業務繁忙で取り組む余裕がない …………… 48 社	9 位 インターネットを利用できる環境がない … 7 社
5 位 利用による効果が検証できない …………… 40 社	10 位 その他 …………… 2 社

経営のポイント! 『資金繰り③』

お金が不足する原因は、「売上が減少した」「利幅がとれない」というだけではありません。前号に引き続き、貸借対照表から資金（お金）が不足する原因について考えてみましょう!

原因その2 売掛金が増加する、買掛金が減少する。

売掛金とは、売上として計上したが現金化していないお金のことです。よって、売上が伸びても、それ以上に売掛金が増えれば資金が不足する状態となってしまう可能性があります。また、買掛金とは、原材料や商品等を購入したが支払をしていないお金です。よって、買掛金が減少するということは、現状より資金が流出してしまうことを意味します。

つまり、資金繰りを改善するには「売掛金は出来る限り減らす」、「買掛金は出来る限り増やす」ことが必要となります。自社の決算書を基に、前期に比べて売掛金と買掛金の増減額について確認してみましょう!

ただし、これらを改善するためには取引企業に協力いただく必要があるばかりか、逆に高コストになるケースもありますので慎重に検討することをお勧めします。

中栄信用金庫が経営のお手伝いをいたしますので、お気軽にご相談ください!!

（次号につづく）

